

令和4年度

岡山県立博物館協議会

第2回 開催要項

1 開会

2 議題

- (1) 令和4年度事業実績について
- (2) 令和5年度事業計画（案）について
- (3) 長期展覧会計画（案）について
- (4) その他

3 閉会

日 時：令和5年3月20日（月） 13：30～

会 場：岡山県立博物館 講堂

(1) 令和4年度事業実績について

①部分開館の状況

開館期間 令和5年1月7日(土)～2月19日(日)
 展示内容 「幕末維新を彩った人々 ～その書簡を見る、読む」
 「開館時の博物館」
 入館者数 2,416人

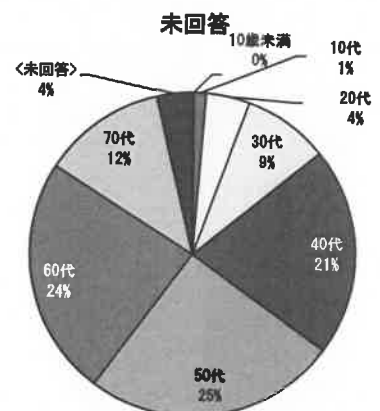
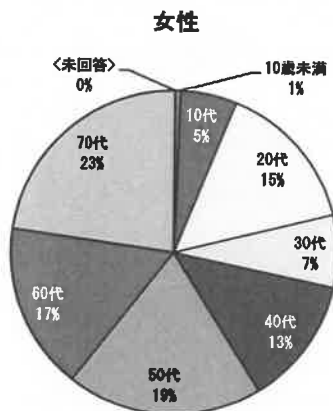
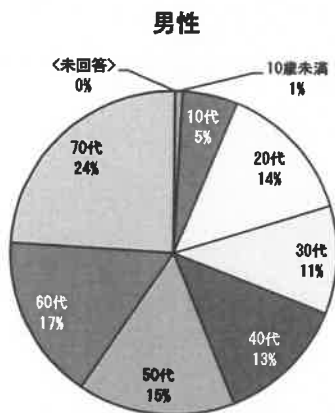
来館者アンケート集計結果

◆回収率

入館者数	アンケート数	回収率
2,416	621	25.7%

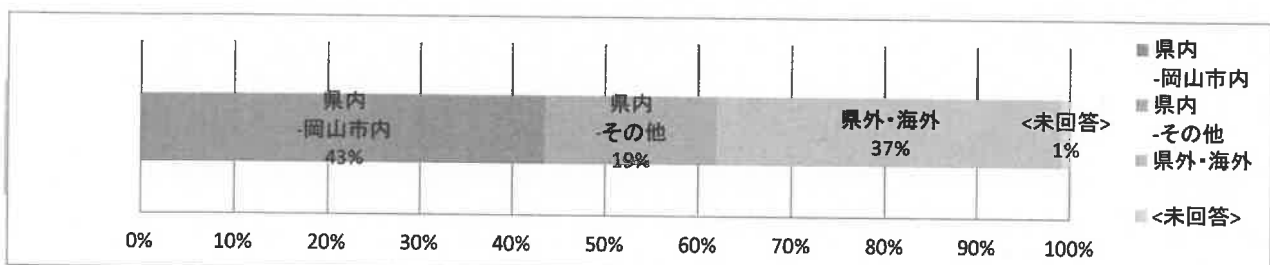
◆年齢構成

性別	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	<未回答>	性別合計
男性	2	15	39	30	36	43	46	67	0	278
女性	1	10	27	13	23	35	30	41	0	180
未回答	0	2	7	14	34	41	39	20	6	163
合計	3	27	73	57	93	119	115	128	6	621



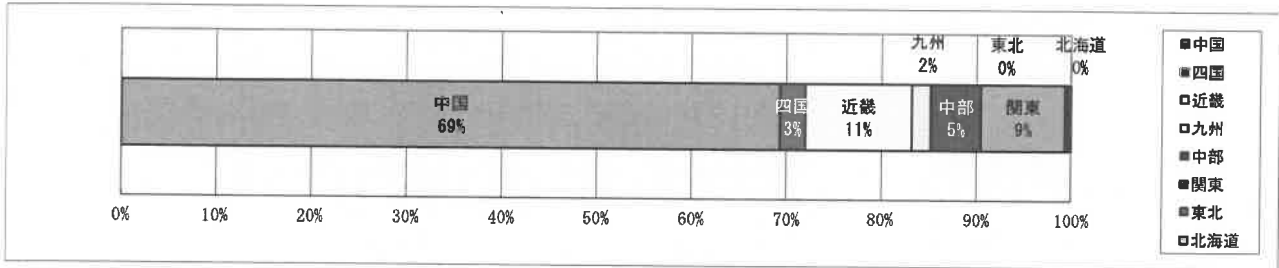
◆住所地一覧

住所地	県内岡山市内	県内その他	県外海外	<未回答>	合計
来館者数	270	115	231	5	621



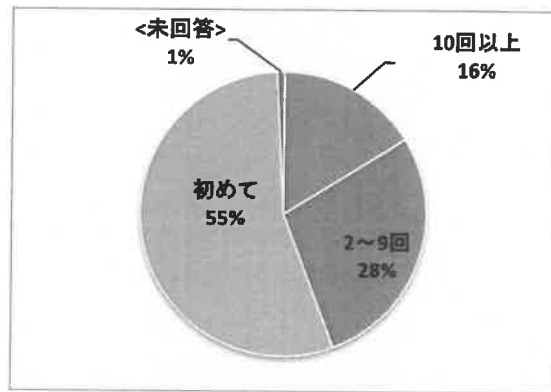
◆県外地方別一覧

地方	中国	四国	近畿	九州	中部	関東	東北	北海道	合計
来館者数	421	16	68	12	32	54	2	2	607



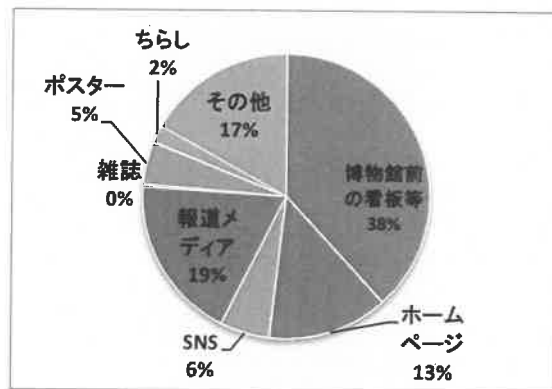
◆当館への来館回数

来館回数	回答数
10回以上	100
2~9回	175
初めて	341
<未回答>	5
合計	621



◆この展覧会を何で知ったか

広報媒体	回答数
博物館前の看板等	251
ホームページ	89
SNS	37
報道メディア	122
雑誌	2
ポスター	32
ちらし	13
その他	111
合計	657



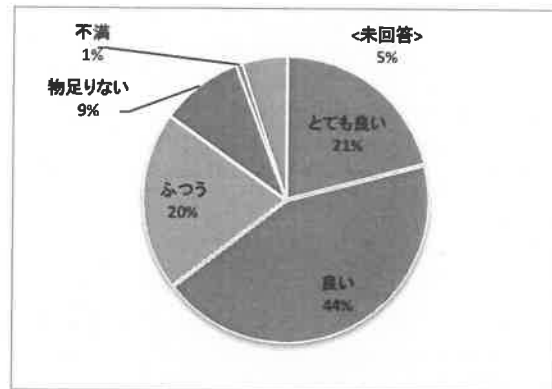
◆今後どのような展覧会を希望するか

希望分野	回答数
考古	157
美術工芸	178
古文書	121
民俗	119
刀剣、甲冑	219
備前焼	124
合計	918



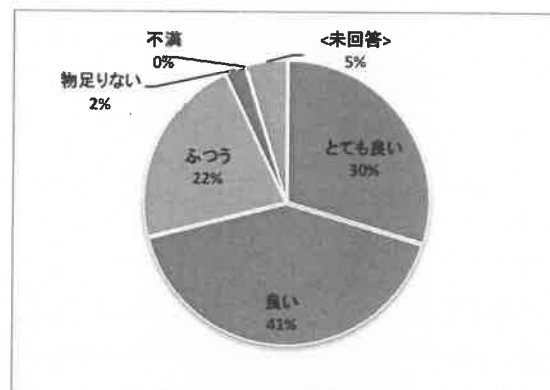
◆今回の展覧会についての感想

感想	回答数
とても良い	130
良い	271
ふつう	126
物足りない	58
不満	4
<未回答>	32
合計	621



◆建物内の環境

環境	回答数
とても良い	184
良い	257
ふつう	136
物足りない	14
不満	1
<未回答>	29
合計	621



②展覧会以外の事業実績

事業名等	内容・実績
文化財の寄託・寄附	10件の長期寄託、15件の寄贈があった。
I P M	<ul style="list-style-type: none"> ・ 隔週でデータロガーを回収し温湿度を管理 ・ 資料の燻蒸（薬剤処理3回、二酸化炭素処理3回） ・ 虫トラップの設置による有害生物生息調査。
特別観覧手続	64件の特別観覧申請に対して許可書を発送（2月末時点）
調査・研究（個人及び共同）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以下の研究成果をまとめた研究報告第43号を作成 岡山市 妙善寺所蔵資料調査 岡山市 常住寺所蔵資料調査 新見市 西江遺跡特殊器台調査 美咲町 刀八神社大般若経調査 備前焼の変遷と窯業採集資料の紹介 桃山時代の「歪み」について 令和元年度・2年度寄附刀剣 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次の所蔵資料等の調査を実施 岡山市 法界院仏像及び明治26年高梁川水害被害の石碑調査 岡山市 金山寺 仏像調査 岡山市 今村宮所蔵資料調査（継続中） 岡山市 吉備津彦神社社宝調査（継続中） 倉敷市 蓮台寺所蔵資料調査（継続中） 倉敷市 野崎家所蔵資料調査 総社市 宮山遺跡資料調査報告 瀬戸内市 邑久光明園監房現状調査 瀬戸内市 余慶寺指定文化財収蔵庫環境調査・指導 瀬戸内市 遍明院所蔵資料調査（継続中） 備前市 正宗文庫所蔵資料調査（継続中） 新見市 宇山大日堂仏像調査（共同） 新見市 神應寺所蔵資料調査 和気町 安養寺所蔵資料調査 美咲町 指定候補文化財調査

事業名等	内容・実績
調査・研究（個人及び共同）	<p>吉備中央町 旧小出酒造資料調査（記録資料館と共同） 滋賀県 園城寺一切経調査（文化庁）</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度開催予定特別展に係る調査 「慈悲のほとけ ー観音と古寺の名宝ー」 「醸す ー自然と技術が育んだ岡山のお酒ー」 ・ 令和5年度テーマ展に係る調査 「名刀 福岡一文字の光彩」 「涼をよぶ岡山の伝統工芸 ー花ござと撫川うちわー」 ・ 令和5年度平常展に係る調査 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化庁主催 指定文化財企画展示セミナーにおいて、 「平常陳列の活性化」について発表 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ X線撮影による光学調査（2件） ・ 山羽虎夫資料について遺族へ聞き取り ・ 花筵調査（三宅松三郎商店、沖宗） ・ 玉野市波知獅子舞保存会と保存について検討 ・ 大宮踊調査（真庭市蒜山） ・ 寄贈、寄託希望資料に関する調査 ・ 個人蔵刀剣（8口）の調査および法手続きに関する助言
館内授業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岡山県立総社南高校
出前授業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岡山県立岡山操山高校「古文書を読み解く」 ・ 岡山県立岡山城東高校「歴史探究」 ・ 小学校第三学年社会科授業「昔の暮らし」（8校863人） 昔の道具（火のし、回転こたつ、燭台など）を観察し、使用方法を考えることで、道具の変化と生活の変化の相関関係を学ぶプログラムを実施。
職場体験	<ul style="list-style-type: none"> ・ 博物館内で学芸員の業務や受付の仕事などを体験 （6校17人）
学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の学校と博物館等ミュージアムの連携事業先進校（山口県下関市立川中中学校）視察

事業名等	内容・実績
オンライン対話型 質問講座	<ul style="list-style-type: none"> ・県内在住の小・中・高校生を対象に、学芸員が岡山の歴史等についてオンラインで質問に答える講座を実施 (7/27、8/10、8/23、8/24、8/26に開催)
大学との連携	<p>【就実大学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践英語学科「翻訳演習1」の受講生と協力し、刀剣展示用の英訳キャプションを作成 ・「博物館資料論」、「博物館資料保存論」等の講義を実施 ・版木のCTスキャン撮影 <hr/> <p>【岡山大学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域社会とミュージアム授業での指導・助言
講座・講義	<ul style="list-style-type: none"> ・赤磐市「郷土の歴史を学ぶ会」 ・岡山市立東公民館「長寿大学」 ・ノートルダム清心女子大学「博物館実習」講師 ・島根県立古代出雲歴史博物館企画展「出雲と吉備」関連講座講師 ・早島町主催「はやしま学『まなびの舎』」講師 ・県立図書館講座「幕末・明治の工芸作品と写実の技」講師 ・岐阜県川辺町古文書研究会勉強会 講師 ・きつず☆ユニバ「スペシャルユニ日」講師
広報活動	<p>【SNSを活用した情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立博物館フェイスブックやツイッターで「端午の節句と鎧兜」、「彗星 所見図」、「撫川うちわ」など収蔵品についての紹介や、オンライン講座、職場体験などの実施事業について投稿 ・部分開館時に展示解説等の関連行事の情報を投稿 <hr/> <p>【各種冊子等への寄稿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『教育時報』3月号 テーマ展の紹介 ・『きび野』春号 テーマ展の紹介 ・『全国かたな旅（仮題）』 県立博物館の紹介
友の会事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと散策（香登方面・妹尾方面）を実施

(2) 令和5年度事業計画(案)について

ア 展覧会

岡山県立博物館 令和5年度事業(展示)計画(案)

※特別展は2階2室利用、テーマ展は2階1室利用 残りの部屋は「岡山の歴史と文化」展

令和5年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
4月	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
5月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
6月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
7月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
8月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
9月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
10月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
11月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	
12月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
令和6年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
1月	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
2月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29		
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
3月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日

事業名	特別展「慈悲のほとけー観音と古寺の名宝ー」			
期間	令和5年7月28日(金)～9月3日(日)			
趣旨	<p>観音菩薩は、様々な姿に変じて人々を困難から救うとされ、親しみやすい慈悲のほとけとして、古くから人々に信仰されてきました。近世以降は観音霊場が各地に成立し、中国地方では中国観音霊場が創設されています。</p> <p>本展覧会では、中国観音霊場に伝わる様々な観音像の魅力に迫ります。あわせて、歴史ある諸寺院に伝わる書画・彫刻等の名宝をご紹介します。</p>			
主要展示資料	木造聖観音菩薩立像	重要文化財	平安時代	岡山市・法界院
	木造聖観音菩薩立像	重要文化財	平安時代	瀬戸内市・餘慶寺
	金陵山古本縁起	県重要文化財	室町～江戸時代	岡山市・西大寺
	木造聖徳太子立像(南無仏太子像)			
		重要文化財	南北朝時代	広島県・浄土寺
	木造蔵王権現立像	重要文化財	平安時代	鳥取県・三佛寺
	四天王図鎗金絵扉	重要文化財	元時代	山口県・龍蔵寺
関連行事等	<p>(1)記念講演会</p> <p>(2)学芸員による展示解説</p> <p>(3)夏休み子ども向けイベント(仮)</p> <p>ワークショップ、仏像なりきり体験、展示品を見て学ぶ文化財講座など</p> <p>(4)霊場会関係者による展示解説(仮)</p>			
備考	入館料未定 会場 2階展示室			

事業名	特別展「醸すー自然と技術が育んだ岡山のお酒ー」			
期間	令和5年10月20日(金)～12月3日(日)			
趣旨	<p>岡山県では南北に流れる河川の恵みのもと、備中杜氏や蔵人たちが酒造りに情熱を注いできました。また、酒米のルーツとされる「雄町米」の9割が岡山で栽培されています。</p> <p>本展覧会では、熟練の技により醸され続けてきた岡山の酒造りについて、酒造の道具や映像などから紹介します。また、懐かしのラベルや酒宴を彩った酒器などを展示し、暮らしのなかの酒文化を見つめます。</p>			
主要展示資料	酒飯論絵巻	広島県	海のみえる杜美術館	
	真清水という酒の詞	和気町	(一財)大国家	
	吉備の魁	岡山市	岡山県立図書館	
	桶	総社市	旧菊池家所蔵	
	暖気桶	総社市	三宅酒造株式会社蔵	
	きつね	岡山県	立博物館	
関連行事等	<p>(1)記念講演会</p> <p>(2)学芸員による展示解説</p> <p>(3)ワークショップ</p>			
備考	入館料未定 会場 2階展示室			

イ 予算

令和5年度予算

【歳入】

(単位：千円)

財源内訳	5年度	4年度	増減	備考
使用料及び手数料	3,892	446	3,446	入館料、講堂使用料
諸収入	2,398	1,237	1,161	博物館講座受講料 電気代私費負担分
一般財源	86,859	72,111	14,748	
合計	93,149	73,794	19,355	

【歳出】

(単位：千円)

項目名	5年度	4年度	増減	備考
①展覧会事業	22,749	11,522	11,227	全面開館による増
＜内訳＞				
・テーマ展(6回)、平常展	5,052	1,979	3,073	
・特別展(2回)	17,697	0	17,697	
・収蔵品移動	0	9,543	▲ 9,543	
②教育普及事業	228	0	228	全面開館による増
＜内訳＞				
・博物館講座	228	0	228	
③資料購入費(修繕費)	285	310	▲ 25	
④資料保存地域支援活動	213	0	213	新規
⑤博物館協議会	301	301	0	
⑥維持管理費	69,373	61,661	7,712	全面開館による増
合計	93,149	73,794	19,355	

(3)長期展覧会計画(案)について

年 度		特 別 展	
5	2023	慈悲のほとけ —観音と古寺の名宝—	醸す —自然と技術が育んだ岡山のお酒—
6	2024	茶の湯の茶碗(仮)	正阿弥勝義と万国博覧会(仮)
7	2025	(仮:岡山の弥生時代) 〈変更の可能性あり〉	秀吉がやってくる—境目の地 備前・ 美作・備中をめぐる攻防—(仮) (変更の可能性あり)

岡山県立博物館協議会委員

任期2年（令和5年2月5日～令和7年2月4日）

令和5年3月20日現在

番号	氏名	区分	現職	就任年月	備考
1	藤原陽子	学校教育関係者	瀬戸内市立国府小学校長	R 4. 5	
2	忠政勇之	"	美作市立作東中学校長	R 4. 5	
3	辻田詔子	"	倉敷市立玉島高等学校長	R 5. 2	新任
4	小見山晃	社会教育関係者	岡山県生涯学習センター所長	R 3. 4	
5	明楽香織	"	NPO法人らんたん職員	R 5. 2	新任
6	美咲美佐子	家庭教育関係者	NPO法人岡山市子どもセンター代表理事	H31. 2	
7	池田千鶴	学識経験者	(株)ビザビ コンテンツ開発局 編集チーム課長	R 3. 2	
8	岡野英美	"	NPO法人 ENNOVA OKAYAMA 正会員	H29. 2	
9	岡本隆明	"	(株)山方永寿堂代表取締役会長	H23. 2	
10	光本順	"	岡山大学学術研究院社会文化科学学域 准教授	H26. 7	
11	三田智子	"	就実大学人文科学部総合歴史学科 准教授	H31. 2	
12	伊勢崎晃一郎	"	日本工芸会中国支部陶芸部会委員	H31. 2	
13	内田章文	"	RSK山陽放送(株)取締役秘書室長	R 3. 2	
14	岡田智美	"	(株)山陽新聞社編集局文化部長	R 5. 2	新任
15	鳥井良輔	"	岡山県議会議員	H27. 6	

岡山県立博物館協議会条例

〔昭和46年6月25日
岡山県条例第47号〕

(設置)

第1条 岡山県立博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関として、岡山県立博物館に岡山県立博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(委員の任命の基準)

第2条 協議会の委員（以下「委員」という。）は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、教育委員会が任命する。

(委員の定数)

第3条 委員の定数は、20人以内とする。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(その他)

第5条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、昭和46年7月1日から施行する。

2 (略)

岡山県立博物館協議会運営規則

〔昭和46年7月1日
岡山県教育委員会規則第13号〕

(趣旨)

第1条 この規則は、岡山県立博物館協議会条例（昭和46年岡山県条例第47号）第5条の規定に基づき、岡山県立博物館協議会（以下「協議会」という。）の運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(議長及び副議長)

第2条 協議会の会議（以下「会議」という。）に、議長及び副議長を置く。

2 議長及び副議長は、岡山県立博物館協議会の委員（以下「委員」という。）の互選により定める。

3 議長及び副議長の任期は、委員としての在任期間とする。

4 議長は、会議を主宰する。議長に事故のあるときは、副議長がその職務を代行する。

(招集)

第3条 会議は、岡山県立博物館長が招集する。

2 会議の招集は、会議開催の場所、日時及び会議に付すべき案件をあらかじめ各委員に通知して行なう。ただし、緊急の場合は、この限りでない。

(定足数及び表決)

第4条 会議は、委員の過半数以上が出席しなければ開くことができない。

2 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(職員の説明及び資料の提出)

第5条 委員は、会議において関係職員に対して、説明又は資料の提出を求めることができる。

(職員の出席)

第6条 関係職員は、会議に出席して意見を述べることができる。

(その他)

第7条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は協議会が別に定める。

附 則

(施行期日)

この規則は、公布の日から施行する。

職 員 一 覧

教育委員会事務局

職 名	氏 名	備 考
文化財課長	江草大作	

岡山県立博物館職員

職 名	氏 名	備 考
館 長	塩 田 勇	
副 館 長	横 山 定	(学芸課長事務取扱)
総 務 課	課 長	間 野 良 一
	副 参 事	平 井 利 尚
	主 任	長佐古 裕 子
	主 任	上 岡 義 貴
学 芸 課	学芸員 (副参事)	重 根 弘 和
	学芸員 (主任)	野 田 蘭 子
	学芸員 (主任)	宇 垣 匡 雅
	学 芸 員	西 垣 江利子
	学 芸 員	岡 崎 有 紀
	学 芸 員	松 井 今日子
	学 芸 員	平 田 良 行